

第1065回（令和4年8月5日）原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合における
泊発電所3号炉に係る審議結果（スケジュール関連）とその対応

No	令和4年8月5日審査会合における審議結果	対応
②	<p>クリティカルパスを含めたスケジュールについて社内での一元管理、意思疎通及び周知・徹底を十分に行うよう改善した上で、北海道電力としてのスケジュールを改めて検討し、その結果を説明すること。その際には、「入構トンネル他波源確認」を踏まえた最終的な基準津波の策定期を示すこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ クリティカルパスを含めたスケジュールについては、引き続き当社内で審査工程を管理している部署に情報を集約することにより一元管理するとともに、変更した場合には単に変更版を関係者に共有することに留まらず、変更点および変更による影響について当社内での工程会議および役員も出席する会議において明示的に説明することにより、意思疎通および周知・徹底を図るよう改善した。 ✓ 地震・津波に関する審査会合においては、プラントに関するスケジュールの部分は直近のプラントに関する審査会合で提示したスケジュールを掲載したうえで網掛けし、当該審査会合での「審議対象外」であることを明示する（その逆も同様、すなわち、プラント関係の審査会合においては、直近の地震・津波関係の審査会合に提示したスケジュールを掲載したうえで網掛けし、当該審査会合での「審議対象外」であることを明示する）。 ✓ 「入構トンネル他波源確認」を踏まえた最終的な基準津波の策定期を含め設定した最新のスケジュールを資料●-●に示す。

以上